

2020年度

学生によるオレンジリボン運動

国際こども・福祉カレッジ 実施報告書



実施主体 福祉心理学科1年生

実施内容 2020年11月8日新潟市主催 はじめて、しもまち。「おひさまホリデイ
PLAY!PLAY!PLAY!」内での啓発活動及び、制作物の12月末までの学校内掲示

①事前に取り組んだ内容

当校では歴代、福祉心理学科1年生がオレンジリボン運動を行っています。本年度も始めるにあたって、この活動を教員から説明を受け、学生は受け身の姿勢から始まりました。しかし、活動を進めていくうちに、児童虐待の実情を知り、そしてオレンジリボン運動の意義を理解することで、自分達の想いを伝えたい、イベントを成功させたいという気持ちが強くなり、いつしか自分達の活動に変わっていきました。学生達は児童虐待という重いテーマの重さをそのまま伝えるのではなく、楽しいプログラムを通して児童虐待防止を知り、関心をもってもらえるようなイベントにしたいと考えました。下記はそのオレンジリボン運動の始まりから、終わりまでの取り組報告です。

②実施期間に取り組んだ具体的内容

①クラス代表の選出：昨年までの活動の振り返りと、現状のコロナ禍の中でどのように開催していくか代表が案を取りまとめ、クラス全体で話し合いを進めていった。開催にあたって、学校単独開催にするか、近隣地区開催のイベントに参加するか、その際には新潟市と共催にできるかの方向性を検討した。

②地域への働きかけ

学生代表が新潟市の地域課に問い合わせ、イベント企画会社 MUSIC DROP の平田氏の紹介を受け、その後、平田氏と直接連絡をとった。

③平田氏より、オレンジリボン運動の趣旨を理解していただき、平田氏のイベント会社企画で新潟市主催の地域イベントに参加させていただくことが決定し、当校の近隣地区の、しもまち地区「はじめて、しもまち。」イベント内で、「おれんじだらけのこども縁日」を開催することとなった。

④イベントの客層や雰囲気に合わせて、実施プログラム内容の検討。

本来の目的である、保護者に児童虐待に関心をもってもらえるように、児童虐待に関する、オリジナルリーフレット、掲示物、メッセージツリーを通して伝えた。多くの大人に関心を持って貰えるように、子ども達が楽しめる「おれんじだらけのこども縁日」と銘打って、テーマカラーのオレンジを目立たせ、コロナ禍で外出する機会の少なくなった多くの子ども達に参加してもらい、どの世代の方も楽しく参加できるプログラムを考案した。

⑤当日を終えて、メッセージツリーやポスター、活動記録の写真を学校内に展示・掲示。来校者やオープンキャンパスに参加する高校生にも、知ってもらう機会を作った。

⑥活動記録として、学生が SNS 用の動画を編集し、公開した。

(1) [【公式】国際こども・福祉カレッジ\(@wm_kokusaikodomo\)・Instagram 写真と動画](https://www.instagram.com/wm_kokusaikodomo/) https://www.instagram.com/wm_kokusaikodomo/

(2) [はじめて、しもまち | Facebook](https://www.facebook.com/shimomachi.n/) <https://www.facebook.com/shimomachi.n/>

③オレンジリボン運動を終えて・・・

学生コメント

- ・地域の人と直接関わることができて楽しかった。目的の通り、子どもが楽しんでくれて、大人もきちんと掲示を見てくれて、子供と大人それぞれに良いイベントになった。
- ・コロナの影響で入学式もこれまでのイベントはほとんどが中止だったなか、はじめてクラスでできたイベントが大きかったこと、一つの目標に向かって頑張れたことが楽しかった。この運動の大切さや活動することの楽しさを知ることができてよかった。
- ・児童虐待の件数、種別、事例などを調べる事で、児童虐待について詳しく理解できたし、予防の視点で、クラスのみならず話ができたことは、大きな力になった。虐待をしてしまう人の背景や気持ちも知ることができた。
- ・本当に困っている人たちにまで、この運動を広めていくことは大変なこと、時間がかかることだとわかった。でも、知ってもらうことで、周囲の見る目が変わったり、何かしようと思ってもらえることも分かった。継続していかなければならないと強く思った。

教員コメント

この活動は、学生主体で企画し、関係機関と連絡を取り合って進めていきました。コロナ感染症拡大防止策も講じながら、学生の意欲や思いを維持していくことは、教員にとっても大きなミッションだったように感じます。終わってみれば、行政、イベント会社の方、地域の方と連携し、さらに学校全体で共有できた活動となり、児童虐待防止に関心をもってもらうという目的を大いに達成できた素晴らしい活動となりました。そしてこの活動を通して、学生は協力しあい、時にはぶつかり、一つの事をやり遂げました。また、将来社会福祉士を目指す学生にとっても、今回の活動を通して、様々な学びがあり、成長させてくれる大変貴重な機会となりました。

